

ゆうべつ

社協だより

謹賀新年

年頭のご挨拶


 社会福祉法人
湧別町社会福祉協議会

会長 西川 仁史

令和3年の新春を町民の皆様とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の運営におきまして、深いご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、令和2年は新型コロナウイルス感染症が発症し、政府より緊急事態宣言が発令されるなど、これまで経験のない状況となりました。町内においても、様々な事業やコミュニティが中止されるなど生活スタイルが一変しました。

本会においても、ふれあい事業など多くの事業が中止せざるを得ない状況になり、地域福祉の推進に大きな打撃となりました。

これからは、新しい生活様式の

実践の中で、地域のコミュニティがより強固なものとなるよう町民の皆様とともに協働しながら、住んでいて良かったと思える町づくりを目指して歩んでまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年がコロナウイルスが終息し、安寧で幸せに満ちあふれた年になります事を心から願い、新年のご挨拶いたします。

社会福祉法人

湧別町社会福祉協議会

会長 西川 仁史

副会長 小川 征一

理事 篠田 悟

理事 後藤 政則

理事 平井 勝美

理事 小池ツヤ子

理事 刈谷 一郎

理事 柴田 洋幸

理事 近藤 敏光

理事 花木 芳徳

理事 関戸 進

理事 高桑 誠

理事 山本 重幸

 □湧別社協本所(中湧別南町)

- ◆事務局
 - 事務局長 石川 克己
 - 事務局次長 吉本 照彦
 - 福祉活動専門員 海谷 政貴
 - 〃 神尾 周汰
 - 書記 松下 展子
 - 今野 泉
 - 会館管理人

 ◆社協訪問介護・居宅介護事業所

- 居宅介護員主任 秋元 智子
- 居宅介護員 渡邊 明美
- 井上あゆみ
- 渡邊美千代
- 前田 浩子
- 松田真由美

 ◆生きがいデイサービス上湧別

- 補助員 高柳 昌美
- 〃 山根 水穂
- 〃 小野寺利恵
- 〃 河瀬沙耶花

 調理員

- 〃

□湧別社協支所(栄町)

◆社協居宅介護支援事業所

 支所長・主査 手塚 千美

- ソーシャルワーカー 白田ゆかり
- 主任介護支援専門員 細川 詔子
- 介護支援専門員 宇佐美喜和子
- 〃 若松 あや

 生きがいデイサービス湧別

- 補助員 依田 歌織
- 〃 片桐 織恵
- 〃 国分 美香
- 〃 北川麻衣子

 調理員

- 〃

 〃

- 〃



善意をありがとう

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

昨年10月から実施いたしました共同募金運動において、町民の皆様のご協力により、多くの善意が寄せられました。心より感謝申し上げます。

今年度の活動では、コロナ禍の影響により街頭募金やイベント募金の実施ができない中、自治会を通じて戸別募金や企業募金、ピンバッジ頒布募金を中心とした運動を中心に展開してまいりました。

寄せられた募金について、赤い羽根共同募金は、令和3年度に実施する地域福祉活動やボランティア活動のほか、ふれあいサロンや小地域活動、老人クラブや青少年育成活動など、町内の地域福祉活動に広く活用されます。また、歳末たすけあい募金は、サービスを希望された77歳以上のひとり暮らし高齢者の方々に、おせち料理をお届けする事業に充てさせていただきます。



「地域に求められる社協」について考える

湧別町社協 役員研修を終えて

湧別町社協役員の資質向上を目的とした法人役員研修として、社会福祉協議会法人役員研修（北海道社会福祉協議会主催）に、役職員8名が参加いたしました。

この研修は、社会福祉協議会を取り巻く社会環境から、今後の社会福祉協議会のあり方、求められる役割について考察することを目的に開催されたもので「これからの地域福祉に期待される社会福祉協議会の役割について」と題した講義を中心に実施されました。

令和2年度北海道社協独自研修

社協法人役員研修 研修科目

【講義】

これからの地域福祉に期待される社会福祉協議会の役割について

講師 山下 興一郎氏

（淑徳大学総合福祉学部 准教授）

【シンポジウム】

様々な地域課題への取り組み事例について

コーディネーター

山下 興一郎氏

シンポジスト

堀込 岳満氏（江別市社協）

山田 英孝氏（津別町社協）

梅澤 美幸氏（鷹栖町社協）

我が町においても、少子高齢化が

高齢者を支える地域づくりを考える

「気づき」という支え合い

湧別町には現在、65歳以上の高齢者が約3,300人住んでいて、町民全体の4割に相当します。ひとり暮らしや夫婦世帯の高齢者も多く、地域全体で支え合う関係性を築くが必要になっています。

身近な支え合いのひとつに「気づき」があります。特に高齢者の身体的・精神的、生活環境などの変化に、近隣住民が「気づく」ところが、生活課題の発見と課題の解決に結びつけることができます。

関係機関や専門職、地域の委員だけでは、住民の生活課題を読み取ることが困難な場合や、発見が遅れるケースがあります。近隣住民だからこそ気づく「変化」を、関係機関に知らせることで、支援につなげることができます。また、自治会役員や民生委員、福祉委員などに相談することや、情報を提供することも必要です。

皆さんの小さな気づきが、地域のSOSサインかも知れません。些細なことでも、社協や地域包括支援センターにご連絡くださいますようお願いいたします。

あなたのまわりに、気がかりな高齢者はいませんか？

たとえばこんなことは？

- ・郵便物や新聞が、郵便受けに溜まっている。
- ・夜になっても家に明かりがつかない。
- ・最近、外出している姿を見なくなった

- ↓体調の急変などが心配
- ・服装が汚れていることがある
- ・家の中が散らかっている

- ・元気がない 痩せてきた
- ↓身体や認知の機能低下、生活上の不安などが心配
- ・家を訪ねても、顔を出してくれない 話をしてくれない

- ・話をすると、知り合いがいなくて寂しいと悩んでいた
- ↓地域からの孤立や、孤独感など悩みを抱えているかもしれません



自治会・民生委員・福祉委員の連携 地域の高齢者を見守るしくみづくり

芭露自治会では今年度、自治会長と民生委員児童委員、福祉委員の3者による「芭露地区民生委員福祉委員連絡協議会」を発足しました。これは、自治会内の福祉活動に関わる委員が連携・協働を図り、情報を共有することにより、高齢者を地域全体で見守ることを目的としたものです。

それぞれの委員は、その職責の中で担当地域を分けて高齢者の見守りに関する活動をしています。しかし、これまでは担当する高齢者の情報を共有することや、一緒に訪問活動を行うなどの協働をしていませんでした。また、地域が高齢化し、様々な形の高齢者世帯があることから、どの委員の活動にも該当しない（対象外）高齢者が存在することがわかりました。

これらの状況を踏まえ、それぞれの委員が持つ情報や地域課題を構成委員で共有し、地域全体で円滑に見守り活動を推進することが必要であるとの動きが強まり、この協議会が生まれました。



この連携により、訪問活動による地域住民どうしのふれあいや、困りごとの早期発見、課題解決への動きが活発になりました。地域の集いなどに参加できない高齢者の中には、見守り訪問を歓迎する方も多いようで「地域の人たちが気にかけてくれて嬉しい」と話してくれたと、委員から報告がありました。

地縁関係・ご近所づきあいという絆を生かし、住みよい地域づくりの活動が行われています。

あたたかい寄付金ありがとうございます

(令和2年10月1日から令和2年12月6日まで)

■香典返しを廃止して

(敬称略)

月日	住 所	氏 名	金額	月日	住 所	氏 名	金額
10.1	東	鈴木 幹 雄	30,000	10.30	芭 露	村 尾 嘉 彦	30,000
10.5	芭 露	多 田 清	20,000	11.4	中 町	坂 本 忠 義	50,000
10.5	中 町	山 本 初 枝	50,000	11.6	芭 露	田 川 幸 夫	10,000
10.7	開 盛	山 川 修 二	30,000	11.9	4の3	野 田 秀 子	30,000
10.9	屯 市	大 脇 美智子	30,000	11.13	4の3	大 泉 隆 夫	30,000
10.12	北見市	貝 守 浩 隆	30,000	11.17	錦 町	八 木 克 子	10,000
10.13	栄 町	原 田 子 三	30,000	11.18	屯 市	相 羽 侯 孝	50,000
10.16	東	佐 藤 スエノ	20,000	11.18	札幌市	長谷川 洋 二	30,000
10.19	屯 市	高 橋 豊 子	30,000	11.20	川 西	江 澤 俊 弘	20,000
10.21	4の3	伊 藤 知 子	20,000	11.24	港 町	白 幡 勝 俊	30,000
10.26	緑 町	今 野 幸 子	40,000	11.25	芭 露	小 湊 公 一	30,000
10.26	錦 町	福 嶋 繁 春	50,000	11.26	栄 町	草 薙 春 雄	20,000
10.28	東芭露	落 合 秀 典	30,000	11.30	屯 市	濱 口 きよ子	30,000
10.29	南 町	後 藤 恵美子	50,000				

■福祉活動に役立てて

(敬称略)

住 所	氏 名・会社名	品 名
東京都	株式会社 龍 角 散	服薬補助食品他(商品名 おくすり飲めたね各種、のどすっきり飴、のどすっきりタブレット)
栄 町	株式会社 西 村 組	消毒液(微酸性電解水) コロナ対策として
東 町	アサヒ食品工業株式会社	食品(うどん・そば・ラーメン) 給食サービス・デイサービスの食材として

社協役職員のおもな動静

令和2年10月から令和2年11月まで

月日	用 務	出席者	月日	用 務	出席者
10.7	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	11.3	湧別町功労者表彰式典	会長
10.9	ふれあいサロンあい訪問	職員	11.4	生活支援コーディネーター養成 研修応用編	職員
10.13	北町シニアクラブ出前講座	職員	11.4	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
10.16	ポレポレゆうべつ収穫祭	会長	11.5	第3回湧別町社会福祉事業検討 会議	局長他
10.16	ふれあいサロンきずな出前講座	職員	11.6	法人役員専門研修	役員他
10.23	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員	11.11	第2回福祉委員会議	局長他
10.23	ふれあいサロンゆう出前講座	職員	11.11	上芭露寿クラブ(老ク)出前講座	職員
10.27	オホーツク園入所判定会議	職員	11.13	ふれあいサロンあい出前講座	職員
10.29	湧別町生活支援体制整備事業 第4回担当者会議	局長他	11.18	ふれあい食堂ポレポレ開所	職員
10.29	湧愛園入所判定会議	局長	11.27	ふれあいサロンゆう出前講座	職員
10.31	圏域内災害ボランティア センター設置・運営訓練	職員			